＜様式1＞

平成 30年 07月 09日

国土交通大臣　殿

地域型住宅グリーン化事業　適用申請書

【平成30年度】

本申請書の内容により、地域型住宅グリーン化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実に相違ありません。

地域型住宅の名称	木と風の家
グループの名称	木と風の家を創る会
直近採択グループ番号	06-0535-0544

（グループ代表者）

代表者名	辨木　晃　代表者印
代表者所属先	株式会社セイコー住研
代表者所在地	大阪府堺市西区上529
代表者電話番号	072-273-7707

（グループ事務局）

事務局事業者名	コバヤシ産業株式会社
事務局担当者名	山内　亮太　印
事務局郵便番号	543-0054
事務局所在地	大阪府大阪市天王寺区南河堀町10-14
事務局電話番号	06-6775-2561
事務局FAX	06-6775-2559
事務局担当者E-mail	yamauchi@kobayashi-ind.com

※）　日付以外は、様式2-1からリンクする為、入力は必要はありません。

＜地域型住宅の生産体制＞　　＜様式２－１＞

１．地域型住宅の名称(必須)	木と風の家
２．グループの名称(必須)	木と風の家を創る会
３．直近採択グループ番号(必須)	06-0535-0544
４．地域型住宅供給対象地域(必須)	大阪府全域（兵庫県一部含む）
５．結成年(必須)	1995　年
６．グループ代表者名(必須)	辨木　晃
７．グループ代表者の所属先(必須)	株式会社セイコー住研
８．グループ代表者所在地(必須)	大阪府堺市西区上529
９．グループ代表者電話番号(必須)	072-273-7707
１０．グループ事務局事業者名(必須)	コバヤシ産業株式会社
１１．グループ事務局担当者名(必須)	山内　亮太
１２．グループ事務局郵便番号(必須)	543-0054
１３．グループ事務局所在地(必須)	大阪府大阪市天王寺区南河堀町10-14
１４．グループ事務局電話番号(必須)	06-6775-2561
１５．グループ事務局FAX番号(必須)	06-6775-2559
１６．グループ事務局担当者E-mail(必須)	yamauchi@kobayashi-ind.com

（構成員数）		（構成員を含まない理由）
Ⅰ．原木供給	4	
Ⅱ．製材・集成材製造・合板製造	4	
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）	2	
Ⅳ．プレカット	1	
Ⅴ．設計	5	
Ⅵ．施工	6	
Ⅶ．木材を扱わない流通	1	
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称 ※以下該当の1、2、3の番号を番号記入欄に記入してください。 1.都道府県の産地認証制度等によるもの 2.民間の第三者機関による認証制度(FSC、PEFC、SGEC等) 3.林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性のためのガイドライン(平成18年2月)に基づき合法性が証明されるもの 4.クリーンウッドに基づき合法であることが確認された木材・木材製品（合法伐採木材等証明）	番号記入欄	国内・国外
A．使用する地域材に関する事項　(必須)	■　合法木材証明制度を利用する	国産材		3	国内
	■　合法木材証明制度を利用する	外材		3	国外
	□　PEFC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　PEFC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　SGEC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　FSC認証制度を利用する	外材		2	国外
	□　FIPC認証制度を利用する	国産材		2	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	国産材		4	国内
	□　クリーンウッド法に基づく証明	外材		4	国外

Ｂ．平成３０年度における補助対象の木造住宅 の申請要望戸数、地域材加算要望戸数、 三世代同居対応加算要望戸数（必須）	長寿命型	長期優良住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
	高度省エネ型	認定低炭素住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
		性能向上計画認定住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上））の申請戸数	今年度要望する戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限100万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）の申請戸数	今年度要望する戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）		戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限110万円）			戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）		戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）		戸
		ゼロ・エネルギー住宅	経験工務店（4戸（8戸）以上）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限125万円）		1	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	1	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限125万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸
			未経験工務店（3戸（7戸）以下）による申請戸数	今年度要望する戸数（上限140万円）		2	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算を要望（上限20万円）	2	戸
					上記の内、三世代同居加算を要望（上限30万円）	0	戸
				その内9月までに交付申請が確実にできる戸数（上限140万円）		0	戸
				加算申請	上記の内、地域材加算の申請が確実（上限20万円）	0	戸
					上記の内、三世代同居加算の申請が確実（上限30万円）	0	戸

C. 平成30年度当初予算における補助対象の優良建築物の申請要望棟数及び床面積	優良建築物の申請棟数	今年度要望する棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	
		その内9月までに交付申請が確実にできる棟数及び面積	0	棟	
			0	㎡	

D. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール （必須）	グループ内で経験の無い業者を優先にし、原則は平等に配分する。

E. 平成２９年度の執行状況（必須）	長寿命型（長期優良住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸	
	高度省エネ型（認定低炭素住宅）									
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸	
	高度省エネ型（性能向上計画認定住宅）									
	採択戸数		戸	交付申請戸数		戸	完了実績（竣工予定含む）戸数		戸	
	高度省エネ型（ゼロ・エネルギー住宅）									
	採択戸数	1	戸	交付申請戸数	1	戸	完了実績（竣工予定含む）戸数	1	戸	
	優良建築物型									
	採択棟数		棟	交付申請戸数		棟	完了実績（竣工予定含む）棟数		戸	
	採択床面積		㎡	交付申請床面積		㎡	完了実績（竣工予定含む）床面積		㎡	

＜様式 2-2・Ⅰ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅰ．原木供給（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に原木供給者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて原木供給者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅰ．原木供給						
33	Ⅰ － 8	岡山県森林組合連合会		700-0866	岡山県岡山市北区岡南町2-5-10	0862-22-7671
33	Ⅰ － 9	真庭木材市売株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾1	0867-42-0602
34	Ⅰ － 10	ひろしま木材事業協同組合		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
39	Ⅰ － 11	高知県森林組合連合会		783-0055	高知県南国市双葉台7-1	088-855-7050
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					
	Ⅰ －					

＜様式 2-2・Ⅱ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅱ．製材・集成材・合板製造（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に製材・集成材・合板製造業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて製材・集成材・合板製造業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅱ．製材・集成材・合板製造						
34	Ⅱ － 12	中国木材株式会社		737-0134	広島県呉市広多賀谷3-1-1	0823-71-7141
33	Ⅱ － 13	院庄林業株式会社		708-0013	岡山県津山市二宮22-1	0868-28-2111
33	Ⅱ － 14	山下木材株式会社		719-3203	岡山県真庭市富尾218	0867-42-1100
39	Ⅱ － 15	高知おおとよ製材株式会社		789-0303	高知県長岡郡大豊町川口字川口南2035-1	0887-70-0020
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					
	Ⅱ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く、長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅲ＞

グループ構成員に建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいて建材流通（木材を扱わない事業者を除く）を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅲ．建材流通（木材を扱わない事業者を除く）						
29	Ⅲ － 1	株式会社トータル・ビルダーズ・システム		633-0047	奈良県桜井市橋本108	0744-44-5512
23	Ⅲ － 16	大日本木材防腐株式会社		455-8680	愛知県名古屋市港区千鳥1丁目3-17	052-661-1501
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					
	Ⅲ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞　Ⅳ．プレカット（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

＜様式 2-2・Ⅳ＞

グループ構成員にプレカット事業者を含まない場合、及びグループにおける地域材供給ルートにおいてプレカット事業者を含まないことがある場合の理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅳ．プレカット						
29	Ⅳ － 17	株式会社丸紅住宅資材		637-0014	奈良県五條市住川町1305	074-726-3610
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					
	Ⅳ －					

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅴ．設計（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

グループ構成員に設計事業者を含まない場合、その理由

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅴ．設計							○	○
27	Ⅴ － 2	株式会社ナカタコーポレーション		575-0003	大阪府四條畷市岡山東一丁目8番8号	072-878-1515	○	
28	Ⅴ － 3	株式会社丸野工務店		664-0022	兵庫県伊丹市中野東1丁目108番地	07-2783-2476	○	
27	Ⅴ － 4	第一工業株式会社		599-0224	大阪府阪南市舞１－３５－１６	07-2471-2251	○	
27	Ⅴ － 5	株式会社スペースビルド		530-0043	大阪府大阪市北区天満4丁目16番11号	06-6358-5225	○	
27	Ⅴ － 7	ありさ住宅株式会社		573-1192	大阪府枚方市西禁野2丁目9番16号	07-2849-2020	○	
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							
	Ⅴ －							

<グループ構成員記入用リスト>Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)

<様式 2-2・Ⅵ-1>

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号	省エネ講習修了済	省エネ講習受講予定
Ⅵ. 施工-1(長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通)							6	○	○
27	Ⅵ - 2	77068	株式会社ナカタコーポレーション		575-0003	大阪府四條畷市岡山東一丁目8番8号	072-878-1515	○	
28	Ⅵ - 3	77718	株式会社丸野工務店		664-0022	兵庫県伊丹市中野東1丁目108番地	07-2783-2476	○	
27	Ⅵ - 4	77371	第一工業株式会社		599-0224	大阪府阪南市舞1－35－16	07-2471-2251	○	
27	Ⅵ - 5	77053	株式会社スペースビルド		530-0043	大阪府大阪市北区天満4丁目16番11号	06-6358-5225	○	
27	Ⅵ - 6	77055	株式会社セイコー住研		593-8311	大阪府堺市西区上529	07-2273-7707	○	
27	Ⅵ - 7	76843	ありさ住宅株式会社		573-1192	大阪府枚方市西禁野2丁目9番16号	07-2849-2020	○	
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								
	Ⅵ -								

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅵ. 施工－2（長寿命型、高度省エネ型、優良建築物共通）

県番号	構成員番号	事業者番号	事業者名	平成29年（1月～12月）の元請実績及び直近3年の年平均元請実績										補助金活用実績の合計数(H27～H29)			被災地に該当	ZEHビルダーに該当	BELS工務店に該当
Ⅵ. 施工-2				元請の新築住宅供給戸数		うち木造長期優良住宅の実績		うち認定低炭素住宅・性能向上計画認定住宅の実績合算		うち木造ゼロエネ住宅の実績		優良建築物の着工床面積の実績		長期優良住宅	高度省エネ型住宅	ゼロエネ住宅	○	○	○
				H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均	H29年実績	直近3年平均						
27	Ⅵ － 2	77068	株式会社ナカタコーポレーション	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
28	Ⅵ － 3	77718	株式会社丸野工務店	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下		○	
27	Ⅵ － 4	77371	第一工業株式会社	1 戸	1 戸	1 戸	1 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	3以下			
27	Ⅵ － 5	77053	株式会社スペースビルド	10 戸	10 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
27	Ⅵ － 6	77055	株式会社セイコー住研	6 戸	5 戸	6 戸	5 戸	0 戸	0 戸	1 戸	1 戸	㎡	㎡	4以上	3以下	4以上		○	○
27	Ⅵ － 7	76843	ありさ住宅株式会社	3 戸	3 戸	3 戸	3 戸	0 戸	0 戸	0 戸	0 戸	㎡	㎡	3以下	3以下	3以下			
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						
	Ⅵ －			戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	㎡	㎡						

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅶ. 木材を扱わない流通

＜様式 2-2・Ⅶ＞

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅶ. 木材を扱わない流通						
27	Ⅶ － 18	コバヤシ産業株式会社		543-0054	大阪府大阪市天王寺区南河堀町10-14	06-6775-2561
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					
	Ⅶ －					

＜様式 2-2・Ⅷ＞

＜グループ構成員記入用リスト＞Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種（畳、瓦、襖等の住宅資材の供給事業者等）

県番号	構成員番号	事業者名	代表者名	郵便番号	所在地	電話番号
Ⅷ．Ⅰ～Ⅶ以外の業種						
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					
	Ⅷ －					

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式3－1＞

1．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）木と風の家	（地域型住宅供給対象地域）大阪府全域（兵庫県一部含む）
2．グループの名称・結成年（必須）	（グループの名称）木と風の家を創る会	（結成年）1995　年
3．過去のグリーン化事業採択グループ番号（必須）	06-0535-0544	

4．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ア．特徴ある地域型住宅の目標設定

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
①地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の重視する性能	大阪府は北・東・南を産地に囲まれ、西には大阪湾が広がる。気候は瀬戸内海式機構に分類され、中国山地と四国山地などで夏と冬の季節風が遮られるため、年間を通して天気が安定している地域でもある。住む人の健康に配慮するためには、家の中の温度変化を少なくし快適な環境が必要。その為に地域型住宅は高気密高断熱住宅とし、室内温熱環境を改善していく。	◎
②地域の気候・風土等に根差した地域型住宅の建て方や様式	大阪府産材のみにはあえて拘らず、条件を満たす供給先を検討した結果、岡山県の製材業者とのコラボレーション体制を構築することとした。夏季に高温多湿、冬季に極寒な上に強風となる地域の気候風土にも適し、構造計画が容易で、断熱層がとりやすい木造軸組を採用していく。	◎
③地域の気候・風土等に根差した地域型住宅のデザインルール	・自然や街並みと調和のとれた美しいデザインを採用していく。 ・夏季の日射遮蔽を考慮して、庇を出来る限り取り入れる。	○
④ ①～③の背景	大阪府産材のみにはあえて拘らず、条件を満たす供給先を検討した結果、岡山県の製材業者とのコラボレーション体制を構築することとした。	○
⑤その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。	快適な住宅に必要不可欠な断熱、気密、遮熱性能を上げる為、吹付断熱と遮熱シートの利用による高気密高断熱仕様とする。主要構造材には全て合法木材を使用する。(ただし、化粧貼り真壁柱と無垢真壁柱は除く)。主要構造材には許容応力度計算による構造計算を実施し、それぞれの計算強度にあった木材を使用。自然エネルギー利用の為、雨水タンクまたは太陽光発電システムのいずれかを設置する。	○

イ．効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備

【平成30年度対応方針】					◎、○記入欄
a	①-1 用材の寸法規格化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・グループ構成員である指定プレカット工場で加工することによる規格の統一。 ・合法性証明、PEFC森林認証により、強度の確保された地域材を原則主要構造部材の過半に使用する。	◎
	①-2 使用建材の統一	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・グループ構成員である指定プレカット工場で加工することによる規格の統一。 ・合法性証明、PEFC森林認証により、強度の確保された地域材を原則主要構造部材の過半に使用する。	◎
	①-3 標準仕様の設定	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：・グループ構成員である指定プレカット工場で加工することによる規格の統一。 ・合法性証明、PEFC森林認証により、強度の確保された地域材を原則主要構造部材の過半に使用する。	◎
	②-1 建材・資材調達の共同化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：安定した性能を維持する為、住宅の性能に関わる資材はグループの建材流通会員を通じて購入。施工グループ・建材流通事業者と連携して、資材の調達の効率化を図っていく。	◎
	②-2 調達事務の合理化	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：安定した性能を維持する為、住宅の性能に関わる資材はグループの建材流通会員を通じて購入。施工グループ・建材流通事業者と連携して、資材の調達の効率化を図っていく。	◎
	③ 生産の合理化等に向けた検討委員会等の設置	□ 行っていない	■ 行っている→	内容：建材・設備メーカー・建材流通事業者と連携して、使用する建材の絞り込みを行う。	◎
	④ 生産の合理化等に向けて事務局が果たす役割	□ ない	■ ある　→	内容：川上の原木供給業者から施工事業者まで、資材の調達が困難にならないよう情報を密にとっていく。	◎
b	① グループの信頼性向上に向けた施工基準	□ ない	■ ある　→	内容：設計グループ構成員等によるサポート支援、仕様説明会を開催し、施工基準の整備に努める。	◎
	② グループの信頼性向上に向けた検査ルール	□ ない	■ ある　→	内容：安全・安心のコンセプトで設計の情報を共有化し、資材の統一化を図る。	◎
	③ グループの信頼性向上に向けた見積・積算のルール	□ ない	■ ある　→	内容：グループ指定のCADステーションがグループ統一のCADを使用して、詳細積算を作成	◎
	④ グループの信頼性向上に向けたその他の具体的取組	□ ない	■ ある　→	内容：グループで共通に利用する施工マニュアルに基づいて施工を行う。安全・安心のコンセプトで設計の情報を共有化し、資材の統一化を図る。	◎
c	① 週休2日制の導入の取組	■ ない	□ ある　→	内容：特になし	○
	② 技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	■ ない	□ ある　→	内容：特になし	○
	③ 社会保険への加入	□ ない	■ ある　→	内容：特になし	○
	④ 安全及び健康の確保のための取組	□ ない	■ ある　→	内容：特になし	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。					

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（長寿命型・高度省エネ型・優良建築物型共通）　　＜様式３－２＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）木と風の家	（地域型住宅供給対象地域）大阪府全域（兵庫県一部含む）
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）木と風の家を創る会	（結成年）1995　年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0535-0544	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

ウ．長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備

【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①住宅履歴情報の蓄積	①-1 内容・蓄積の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：住宅履歴管理システム（Anyone、いえかるて等）を利用して、履歴情報を確保する。	◎
		①-2 情報サービス機関の活用	□ ない	■ ある →	内容：各工務店での情報共有やセミナー等参加	◎
		①-3 履歴情報蓄積の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：住宅履歴管理システム（Anyone、いえかるて等）を利用して、履歴情報を確保する。	◎
	②メンテナンス基準の整備	②-1 点検の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：定期点検1.2,6,12か月、後は１年ごとの定期点検として共通ルール化	○
		②-2 補修の共通ルール	□ ない	■ ある →	内容：施工グループ・事務局を中心に、維持管理の体制の整備を図っていく。	◎
		②-3 点検補修実施の確認手法	□ ない	■ ある →	内容：地域型住宅の長寿命化に向けて、点検内容・診断基準を設定し、すまい手の安心と信頼を確保	○
	③住まいの管理	③-1 住まい管理勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：必要性に応じ、すまい手向けに、住まいの維持管理の必要性を訴えていく。	○
		③-2 DIY体験会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：イベント等にて本棚等作成	○
		③-3 その他の相談会等の実施	□ ない	■ ある →	内容：必要性に応じ、すまい手向けに、住まいの維持管理の必要性を訴えていく。	○
	④	維持管理委員会等の設置	□ ない	■ ある →	内容：施工グループ・事務局を中心に、維持管理の体制の整備を図っていく。	○
	⑤	その他の維持管理の手法	■ ない	□ ある →	内容：	○
b	①	グループ構成員の倒産廃業時のバックアップルール	□ ない	■ ある →	内容：・グループが推奨する「住宅完成保証」への加入を勧める。 ・構成員が倒産廃業した場合に、他の構成員がアフタメンテをバックアップできるように事務局が可能な限り斡旋する。	◎
	②	過去の瑕疵内容等に学ぶ勉強会の実施	□ ない	■ ある →	内容：・瑕疵が発生した場合の対応の手引きを作成し、住宅の引き渡し時に「重要事項の説明」として	◎
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

エ．グループの技術力の向上

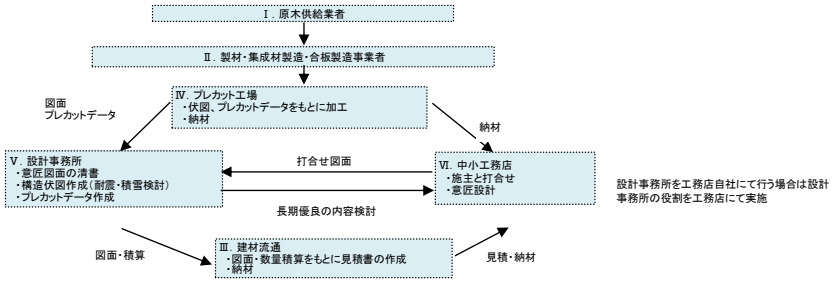
【平成30年度対応方針】						◎、○記入欄
a	①	未経験工務店等への施工技術研修会等の開催	□ ない	□ ある →	内容：高気密・高断熱住宅、長期優良住宅、認定低炭素住宅、ゼロエネ住宅の設計・施工・仕様に関	◎
	②-1	品質管理のための共通ルール	□ ない	□ ある →	内容：安全・安心のコンセプトで設計の情報を共有化し、資材の統一化を図る。	○
	②-2	上記共通ルールが守られていることの確認手法	□ ない	□ ある →	内容：住宅履歴管理システム（Anyone、いえかるて等）を利用して、履歴情報を確保する。	○
	③-1	需給計画の策定	□ ない	□ ある →	内容：住宅履歴管理システム（Anyone、いえかるて等）を利用して、履歴情報を確保する。	○
	③-2	技術力向上のための中長期的な計画	□ ない	□ ある →	内容：今後、新たに参加する施工事業者の中にも未経験事業者が多数参加する事が想定できる。この為、未経験施工事業者向けの長期優良住宅供給のサポートの強化を行う。また、新たにゼロエネルギー住宅、低炭素住宅についても供給できるように、体制強化を図る。	○
	④	③に基づく業種ごとの合理化の取組	□ ない	□ ある →	内容：事務局を中心に、各業種の連携が図れるよう努めていく。	○
b	①-1	省エネ技術講習会への施工事業者社員の参加人数	昨年度までの終了者数　6		今年度の参加目標人数　6	○
	①-2	省エネ技術講習会への請負技能者等の参加人数	昨年度までの終了者数　4		今年度の参加目標人数　6	○
	②	省エネ技術講習会への参加促進のための取組	□ ない	■ ある →	内容：省エネ技術講習会の未受講の事業者には、参加の義務付け。グループ事務局へ受講終了の報	○
c	①	新たな技術等の導入	□ ない	■ ある →	内容：・会合を最低2か月に1度集まり勉強会を開催。事務局を中心に、建材メーカーや設備メーカーの	○
	②	新たな技術等の開発	□ ない	■ ある →	内容：・住宅環境負荷の低減高める技術に関する講習会等の参加を促し、技術力を高めていく。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。						

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称）木と風の家	（地域型住宅供給対象地域）大阪府全域（兵庫県一部含む）	
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称）木と風の家を創る会	（結成年）1995 年	
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0535-0544		

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み　※記入した内容おいて「必ず実施する取組み」の場合は◎印、「グループが目指す目標」の場合は○印を右欄に記入してください。
※住宅と建築物（非住宅））の両方を申請する場合において、取組に違いがある場合は、その旨を具体的に記入してください。

オ．地域の産業・住文化・景観等への寄与

【平成30年度対応方針】			◎、○記入欄
a	① 地域材利用に関する共通ルール（必須）	・地域材は、次の理由から国内産及び海外産の合法木材証明制度の認証をうけたスギ、ヒノキ、国産アカマツ、米松、欧州赤松とする。だが、一部樹種が、欧州赤松、米松など海外樹種で原木業者が海外の会社の場合念書を提出できない業者を含む。その場合、原木業者から念書登録可能な国内のメーカーが森林認証（PEFC）等で繋がっており、何かトレースが必要な場合に証明することが可能な商品を使用することを条件とする。①以下に該当する認定制度に基づく証明の添付。 PEFC森林認証制度・森林経営の持続性や環境保全の配慮などについて民間の第三者機関により認証された森林からの産出される木材・木材製品。②原木の産出国がわかる書類のひな形の添付。	◎
	② 地域材利用の1棟当たりの割合（必須）	□ 50%未満　■ 50%以上　□ 80%以上	◎
	③ 標準的な地域材の使用部位（必須）	主要構造材　土台：□ 使用していない　■ 使用している 柱：□ 使用していない　■ 使用している 梁・桁等の横架材等：□ 使用していない　■ 使用している 羽柄材　間柱、根太、垂木等：□ 使用していない　■ 使用している 造作材　枠材、廻縁等：■ 使用していない　□ 使用している 板材　壁板、床板等：■ 使用していない　□ 使用している	◎
	④ 地域材の流れ（フロー図）などグループの取組に関する補足説明		
b	①-1 地域材在庫把握の仕組	□ ない　■ ある → 内容：国産材の受給情報は原木グループ構成員からの情報をもとに事務局が定期的に発信する。	○
	①-2 地域材価格の共有の仕組	□ ない　■ ある → 内容：国産材の受給情報は原木グループ構成員からの情報をもとに事務局が定期的に発信する。	○
	② グループ全体における地域材の需給予測	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：物件の受注から施工まで約3～4か月の時間的余裕がある。よって、構成員が受注と同時に必要数量を事務局に報告し、事務局が集計することによって需要予測が作成できる	○
c	①-1 畳の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数（1畳換算） 30枚	○
	①-2 和瓦の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数：50坪	○
	①-3 襖の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算） 50枚	○
	①-4 障子の活用	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：今年度の使用予定枚数（3×6換算） 30枚	○
	②-1 その他地域の伝統的な素材の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	○
	②-2 その他地域の伝統的な意匠の活用	■ 行っていない　□ 行っている→ 内容：	○
d	① 地域の伝統的なデザインを継承する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：大阪、兵庫県の地域の伝統的なデザインを考慮した木造住宅を提案していきます。	○
	② 地域の住まい方の継承につながる取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：地域で生活できるよう、地域活性化に努めていきたい。	○
	③ 地域の街並み形成へ寄与する取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：地域の伝統的なデザインを考慮した木造住宅を提案していきます。	○
	④ 和の住まいの要素を取入れた取組	□ 行っていない　■ 行っている→ 内容：和の住宅需要は減少しているが、部分的に和を取り入れていくことは可能。現代風の和室づくりも設計手法に取り入れて、住み心地の良い空間づくりを提案していきます。	○
その他 ※上記項目以外でグループ独自のルール・目標があれば記入してください。			

カ．その他

【平成30年度対応方針】		◎、○記入欄
東日本大震災の復興に資する取組		
平成28年熊本地震の復興に資する取組		

※）行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

＜地域型住宅グリーン化事業に対する取り組み＞（高度省エネ型・優良建築物型のみ）　　＜様式３－４＞

１．地域型住宅の名称・対象地域（必須）	（地域型住宅の名称） 木と風の家	（地域型住宅供給対象地域） 大阪府全域（兵庫県一部含む）
２．グループの名称・結成年月（必須）	（グループの名称） 木と風の家を創る会	（結成年） 1995 年
３．過去のブランド化事業採択グループ番号（必須）	06-0535-0544	

４．地域型住宅グリーン化事業のねらいに対する取り組み

キ．グループが取組む木造住宅・建築物の特徴
※この項目は、高度省エネ型、優良建築物型を申請するグループのみ記入してください。
※申請に係る認定低炭素住宅、性能向上計画認定住宅、ゼロ・エネルギー住宅、優良建築物の性能や特徴等について記入してください。

「木と風の家」は、長期優良住宅の考えに基づき、高気密高断熱、高耐震性を有した高性能住宅となる。特に、高気密高断熱の性能を長期間維持する為には、木材の乾燥の進行による材料の変形を抑制する事が極めて重要となる。よって、断熱材に接する面が大きく、そこに影響を与える可能性のある土台と管柱については、含水率15%以下に管理された木材を使用し、木材の変形による断熱気密性能への影響を極限まで抑えている。・断熱材は現場発泡ウレタンフォーム「フォームライトSL」を外壁と屋根に採用。グラスウールによる施工よりも気密が取り易くなり、施工による性能のばらつきを抑える。

〇高度省エネ型
認定低炭素住宅：省ｴﾈ法の省エネ基準に比べ、一次エネルギー消費量が△10%以上とする。
〇ゼロ・エネルギ-型
省エネ基準における計算に準じた評価方法によって、標準的な一次エネルギー消費量が概ねｾﾞﾛとなるものとする。
グループモデルの内容については以下の通りである。
・外皮は、ドアK2仕様、窓一重樹脂アルミ複合のLow_E複層_GA10以上。
・設備内容は、太陽光発電を採用とし、暖冷房は「主たる居室」と「その他居室」共にルームエアーコンデショナー。排気はダクト式一種排気設備（熱交換型排気設備）、もしくは第三種換気を使用する。
給湯は電気ヒートポンプ給湯機、ふろ給湯機（追いだきあり）、水栓は2バルブ水洗以外、高断熱浴槽を使用する。
申請する物件により適宜内容の変更はあるものとする。

※）　行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。